

# 厚生文教常任委員会 行政視察報告書

## 1 視察日程

令和元年6月21日(金) 午前10時30分～正午

## 2 視察先及び目的

視察先 : 特定非営利活動法人 ご・ざあーれ広場  
目的 : 通所型サービスBの取組みと運営について

## 3 視察者

委員長 丹野 貞子  
委員 佐藤 修二、齋藤 隆、岡田 桂司、松田 収作、東海林 信弘  
健康福祉課 服部 課長補佐  
議会事務局 中野 局長補佐

## 4 視察内容

### <運営状況>

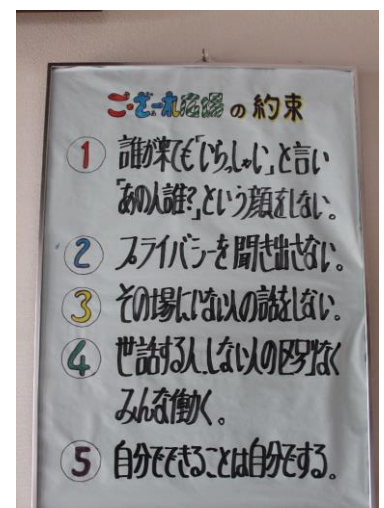
- 平成30年4月から特定非営利法人「ご・ざあーれ広場」が地域住民の「居場所」として運営を始める。
- 「居場所」は町中心部の空き家を利用している。
- 運営費は町の通所型サービスB運營業務委託料を中心に、独自で寄付や会費を集めている。
- 山形県内で4番目に開所した。
- 「居場所」として楽しく過ごすため、「運営方針」「5つの約束」を掲げている。
- スタッフはNPO法人の会員18名。賛助会員50名。
- 町からの委託料は家賃、駐車場料金、光熱水費、事務をする人件費などで、独自で事業を行う経費は自前で捻出しなければならない。
- 利用者数は月に延べ200人～230人

### <取組み状況>

- 開所日：祝祭日を除く月曜日～金曜日。  
時間：午前10時～午後4時(いつ来てもいつ帰ってもよい)。



ご・ざあーれ広場の皆さん、お忙しいところありがとうございました



5つの約束。みんな守って楽しく過ごしてます



広報紙。活動模様やイベント情報が満載

利用料金：1日300円。

○お茶、コーヒー、茶菓を用意。利用者さんから差し入れの漬物などがあるときもある。

○玄関脇の事務室で「利用者受付簿」に記入し利用料金を支払う。

○居場所でくつろぐ(毎週木曜日に写経、書道会、手芸を行う。月一回アロマ教室を開催)。

○素敵なカフェルームでくつろぐ(コーヒー1杯100円)。

○水曜日は「シニアの為の英会話」を開催。

○昼食は食材費200円。そば、うどん、カレー、井ぶりものなど利用者さんが一緒になって作る。そして、みんなで楽しく食べる。

○月1回様々なイベントをしている(平成30年度は、石鹸づくり、なた巻づくり、福祉バスを利用した米沢方面に外部研修、交通安全教室、大正琴演奏会、文化祭バザー開催、クリスマスリース作り、正月リース作り、新春落語と大黒舞、マンドリンとギターの演奏会、カラオケ教室など)。

○広報紙の配布や口コミで利用者を増やす努力をしている。

○課題として、

- 1) 利用者の移動手段の確保、
- 2) 収益が無い中での法人税の捻出、
- 3) 空き家を利用しているため、活用するのに必要な改築、改造などができるのか(修繕費用も含む)、

がある。

## 5 所感

○スタッフの居場所づくりに役に立ちたいとの熱意が伝わってきた。

○利用者を増やす取組みを懸命に行っている。

○現在の委託料だけでは、新しい事業運営ができないのではないか。

○県内で4番目の施設の取組みは素晴らしい。どんがホールが近く、何かと使いやすいと感じた。利用者が多いと感じた。

○他の補助事業を活用しての自主事業や映画の上映会を行うなど、財政面での取組みに努力している。



利用者の作品。完成度が高すぎます

○他の地域での開設に向けて、前例として注視していく必要がある。

## 6 まとめ

○民家とは言え、施設の修繕に対する予算措置なども必要ではないか。公設の施設との関連も含めて考える必要がある。

○利用者の移動手段への取組みに課題がある。



今日も元気に営業中！お気軽にお越しください